

大月駅周辺地区都市再生整備計画(大月駅周辺整備事業)の概要

**目標：交通結節機能の強化を契機にした、安心・安全で快適な生活環境の創出と中心市街地の活性化**

目標1：駅南北における交通機能の新設・改善と南北の連絡機能強化 - 「交通結節機能の強化」

目標2：活力ある中心市街地の再生に向けた安全・快適な生活環境の創出 - 「安全で快適な交通基盤の整備」

目標3：自然と歴史を取り込んだ大月の顔となるまちなみ景観の創出 - 「良好な景観形成」

**現状と課題**

中心市街地の衰退	
大月駅周辺の市街地は、大月市の行政・商業・業務・教育等の中心地であるが、近年、既存商店街の空洞化と活力の低下が進んでいる状況にある。	→ 駅を中心とする市街地の活性化においては、駅周辺における交通結節機能の強化とともに官民一体となった魅力あるまちづくりが必要。
南北市街地の分断と狭小な駅前広場	
大月駅周辺市街地はJR中央線により南北が分断され交流が希薄となっているとともに、南口の駅前広場は極めて狭小なため安全でスムーズな交通が確保できない。	→ 駅南北の交流を促進し、安全で快適な駅の利用をはかるために、多方面からの歩行導線の確保、安全な交通結節機能の強化が必要。
駅北側の大規模空閑地の有効利用	
駅北側の約3.3haの空閑地は大月市内では貴重な平坦地であり、駅に近接している立地条件から、有効利用が求められている。	→ 空閑地の土地利用の促進、民間活力の導入による魅力ある市街地形成のためには土地利用規制の見直しが必要。
安全で快適な歩行空間等の欠如	
駅周辺の道路は歩道の整備が不十分であり、身近な公園等の公開空地が存在しないため、駅利用者や観光客等の安全且つ快適な通行が確保できていない。	→ 駅周辺の地区内道路は、安全で快適な歩行空間を整備する必要がある。また、市民や来街者が滞留できる、ゆとりある空間の確保が必要。
高齢化社会の進行・交通弱者への対応	
本市の高齢化率は平成18年度現在で26%に達しており、今後さらなる高齢化社会を迎えるに当たり、交通弱者への対応が急務となっている。	→ 道路や駅等の公共施設の整備にあたっては、高齢者や障害者等の交通弱者に配慮したユニバーサルデザインにより整備することが必要。

**整備方針**

交通機能の新設・改善と南北の連絡機能強化
駅舎を挟む南北市街地にそれぞれ南口駅前広場及び北口駅前広場を整備し、大月駅を中心とした交通機能の改善を図る。
橋上駅舎化と南北自由通路の整備により、駅を中心とした南北市街地の交流軸を形成する。
安全・快適な生活環境の向上
高齢者など交通弱者が安全で快適に利用できる交通基盤の整備とバリアフリー化の推進。
市民や来街者が交流・滞留できる駅前広場等を整備する。
大月市の特性を生かした景観形成
魅力向上のため、玄関口にふさわしい、駅・街路景観の形成を図る。

**主な事業**

<整備方針、共通>
・南口駅前広場の拡張整備
・北口駅前広場の新設整備
・市道大月駅前通線他の道路改良
・大月駅南北自由通路の新設
・JR大月駅橋上駅舎の新設
<整備方針、共通>
・富士急行線の駅舎改築
<整備方針、共通>
・南口周辺電線類の地中化
<整備方針>
・市営駐車場の整備
・南口コインパーキングの設置
・北口駐輪場の整備
<整備方針>
・富士急行線踏切の安全対策
・防犯カメラの設置
・案内板の設置
・交流拠点整備(まちやどり)
<整備方針>
・登山道の整備
<整備方針>
・建築物ファサード整備
・空き店舗対策

**活性化を推進する継続的な活動(案)**

整備された施設を利用した活性化策
駅前広場や南北自由通路等のスペースを活用した各種イベントの開催 朝市・夕市、絵画・写真展、フリーマーケット、音楽会等 国道20号等を利用した歩行者天国の開催
継続した活動を支援するしくみづくり
地元商店街、消費者、行政関係者等からなる「まちづくり協議会」を設立し継続的な活動(研究会・講演会等)を実施

